

## 文化庁委嘱事業として実施する公開講座のご案内

後援：熊本県教育委員会・熊本県玉名地域振興局・荒尾市・荒尾市教育委員会  
福岡県教育委員会・大牟田市・大牟田市教育委員会

# 「三池炭鉱が世界遺産に

入場無料

# なるって、ホント!？」

日程：12月9日(土) 午後1時30分より

会場：荒尾総合文化センター小ホール

講師：三浦卓也（マヌ都市建築研究所）

東川隆太郎（NPO法人かごしま探検の会）

宗田好史(京都府立大学環境デザイン学科助教授)

加藤康子(都市経済評論家)

### 主催・問合せ先：

NPO 法人 大牟田・荒尾 炭鉱のまちファンクラブ TEL 0944-52-7026

または万田炭鉱館 TEL 0968-64-1300

九州各地に残る製鉄所跡や炭鉱跡などの産業遺産を「日本の近代化の発祥の地」として、ユネスコの世界遺産に登録しようという動きが活発化しています。先月24日には、英国の専門家らが万田坑・宮原坑・三池港などを訪れ、石炭の採掘施設や輸送施設などが残る三井三池炭鉱（福岡県大牟田市、熊本県荒尾市）に高い評価をいただきました。

国際産業遺産保存委員会事務局長、スチュアート・スミス氏の評価は極めて高く、「欧米以外で初めて、しかも短期間に近代化を達成した日本の出発点は九州にある。世界史的に見ても奇跡と言える日本の誇るべき歴史が、これほど具体的かつ正確に保存されているのは、十分世界遺産に値する」と絶賛されました。

### 【公開講座のねらい】

九州産業遺産の世界遺産申請などの流れを受けて、改めて遺産群の価値と活用の可能性を問い直し、とくに地域の皆さまの関心を高め、力強い保存活用への関与の流れを生み出していく。

- (1) 市民にとって三池炭鉱の遺産はどのような価値があるのか改めて確かめる。
- (2) 三池炭鉱の何が価値があるのか確かめる（モノだけではなく、風景、人の営み・・・）。
- (3) 価値を守り育てるために、我々には何ができるのか主体的に考え、提案する。

12月9日(土)の公開講座で行うアンケートに基づき、「ほりだし講座」を万田炭鉱館で実施します。アンケートで希望の多い演題で組み立てる連続講座「ほりだし講座」(3回)により、皆さまとともに万田坑・宮原坑を初めとする三池炭鉱関連産業遺産の保存活用について考えます。